

# 裏当材 SB-41 改良品について

営業企画部 顧客サービスグループ 課長 高橋 将

## 1 はじめに

裏当材は、主にガスシールドアーク片面溶接用に、溶接部の品質向上、溶接施工の能率向上を目的として開発され、複雑な構造物の溶接等に広く適用されています。

今回、溶接後に生じる「糊残り」の少ないタイプの  SB-41 を開発しましたので紹介します。

## 2 裏当材とは

代表的なセラミックス系裏当材として、 SB-41があり、セラミックス固形材は母材に接する面にスラグポケットが設けられているため、健全な裏ビード形状を得ることができます。

種々開発されています。その中でセラミックス固形材を接着剤付アルミテープに貼り付けて一体構造(図1、写真1)にし、この接着剤による張付ける方法(図2、写真2)が主流を占めています。

裏当材は、使いやすさの点から鋼材への取り付け方法が

## 3 特徴

主に造船分野では、溶接後に塗装する工程において、裏当材の「糊残り」を除去する必要があるときに、糊残りが多い場合、大変な手間が生じることがあります。

今回、この接着剤付アルミテープを改良し、母材への糊残りの少ないタイプを開発しました。写真3に従来品との比較を示します。特にPSPC対応にも適用可能と考えます。

## 4 備考

なお、 SB-41 には、各種用途に対応した、さまざまな寸法・形状を用意しています。

詳しくは最寄りの支店までお問い合わせください。

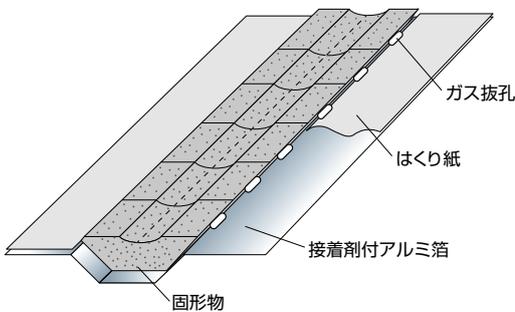


図1  SB-41の構成

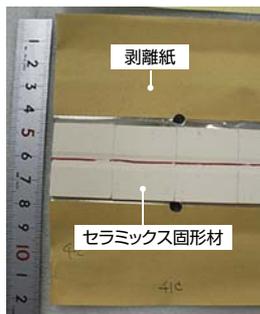


写真1  SB-41の構成  
(注：写真は SB-41C)

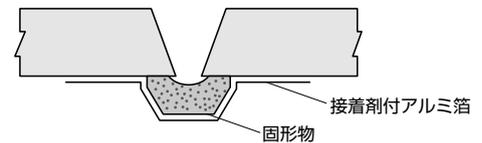


図2  SB-41の貼付



写真2  SB-41の貼付

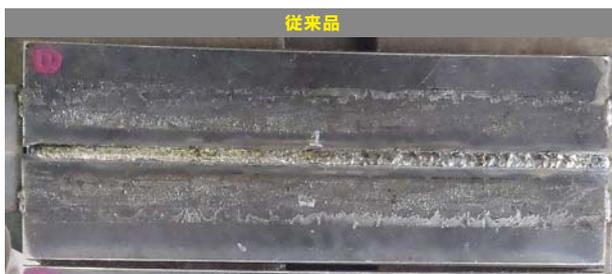


写真3  SB-41の糊残り比較